

# お伊勢参り街道と伊勢志摩一泊ウォーク

## 1日目

2019.6.23～24 8km



- 1、主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している  
他は応急措置以外の責任は負いません
- 2、途中、気分が悪くなった場合は早めに役員へお知らせ下さい。
- 3、天候、交通事情によりコースを変更する場合があります。
- 4、アルコールを飲んだ後はお風呂は控えて下さい。

**弥次さん喜多さんが歩いた道(旧東海道 日永追分まで)**  
中央緑地公園をスタート、天白(てんぱく)川の土手をしばらく歩き、旧東海道に出ます。道幅が狭い場所があるので注意しましょう。道沿いには往時をしのばせる建造物が随所に残ります。日永(ひなが)の一里塚、名残りの一本松を見ながら日永の追分まで進みます。ここは東海道と伊勢街道の分岐点です。ここには神宮遥拝鳥居、常夜灯、道標、手水所などがあります。この手水所の水は「追分鳥居の水」と呼ばれ、600mほど西にある泊山の湧水を引いたものだそうです。

**外宮(げくう)：豊受大神宮(とようけだいじんぐう)**  
伊勢市の中心部に高倉山(たかくらやま)を背にして、ご鎮座される豊受大神宮は、豊受大神(とようけおおかみ)をご祭神としてお祭りしている。豊受大神は天照大神の御饌都神(みけつかみ)で食物の神様として崇敬を集めている。

**古市参宮街道** 江戸時代の人たちのように、古市を通して「外宮」から「内宮」まで『伊勢参宮街道』を歩きます。この道沿いは住宅街になっていて、江戸時代の面影を残すものはほとんど見当たりません。途中に『備前屋跡』『油屋跡』という、当時の代表的な遊郭の標柱が建っています。『備前屋』は、おかげ座で再現されている大きな遊郭。『油屋』は、歌舞伎の『伊勢音頭恋寝刃(いせおんどこいのねたば)』の舞台です。近鉄線を越して左手に『麻吉(あさきち)旅館』があります。ここが唯一、当時の面影もそのままに現在も現役で営業されている旅館です。斜面を利用して建つ木造6階建ての歴史ある建物。急な階段を下りて振り返ると、建物同士を繋ぐ渡り廊下です。ここでしばし休憩です。  
道幅は狭いので1～2列で歩きましょう。

江戸時代、大名は参勤交代が義務付けられていました。この参勤交代のおかげで、各地の街道はどんどん整備され、宿場町も賑わい、地方文化の交流も始まりました。しかし庶民は、自由に旅することを禁じられていました。特に女性は『入り鉄砲出女』という言葉が表すように、関所で厳しくチェックされ、旅行どころではなかったようです。そんな時代でも信仰までは厳しく制限できないということで『伊勢参り』は比較的自由に行けたそうです。ひしゃくがお参りの目印。ひしゃくを持って伊勢を目指せば、街道筋の人々が施行(せぎょう・仏教のお布施。旅人に食べ物などを施した人には功德があると信じられている)として、色々手助けしてくれたそうです。それゆえ『おかげ参り』とも呼ばれていました。



**浜の雅亭一井 宴会(18時)と朝食(7時)は2階広間**  
○チェックイン時部屋に直接行って下さい。帰りにキーをフロントへ  
○貴重品は部屋の金庫へ ○冷蔵庫は空ですが使えます。  
○大浴場は24時終了、朝6時より ○売店21時まで ○フロント(内線 111)

**スケジュール**

富士宮	バス	新富士IC	新東名	浜松SA	新東名	豊田東JCT	伊勢湾岸	みえ川越IC
6:00		6:05		7:25~40		8:30		9:00
市立博物館		中央緑地公園	ウォーク	日永追分(ファミマ)	R1-関BP	伊勢崎IC	伊勢道	安濃SA
9:25~50		9:55~10:00		10:55~11:05				11:50~12:35
伊勢西IC	外宮	ウォーク		内宮バス駐車場	楠部IC	鳥羽南・白木IC	浜の雅亭一井	
13:20	13:25~55			15:25	15:30	15:45	16:00	

**俳句・川柳をつくろう**  
一泊ウォークを題材にして俳句、川柳を作ってみましょう。  
用紙を配付しますので、一人1、2点を宴会時または翌朝担当者に提出して下さい。  
表彰は後日行い広報「みちしるべ」で発表します。